

妖女館



日常

2



浦瀬しおご





ああ…
とっても素敵…

はあ

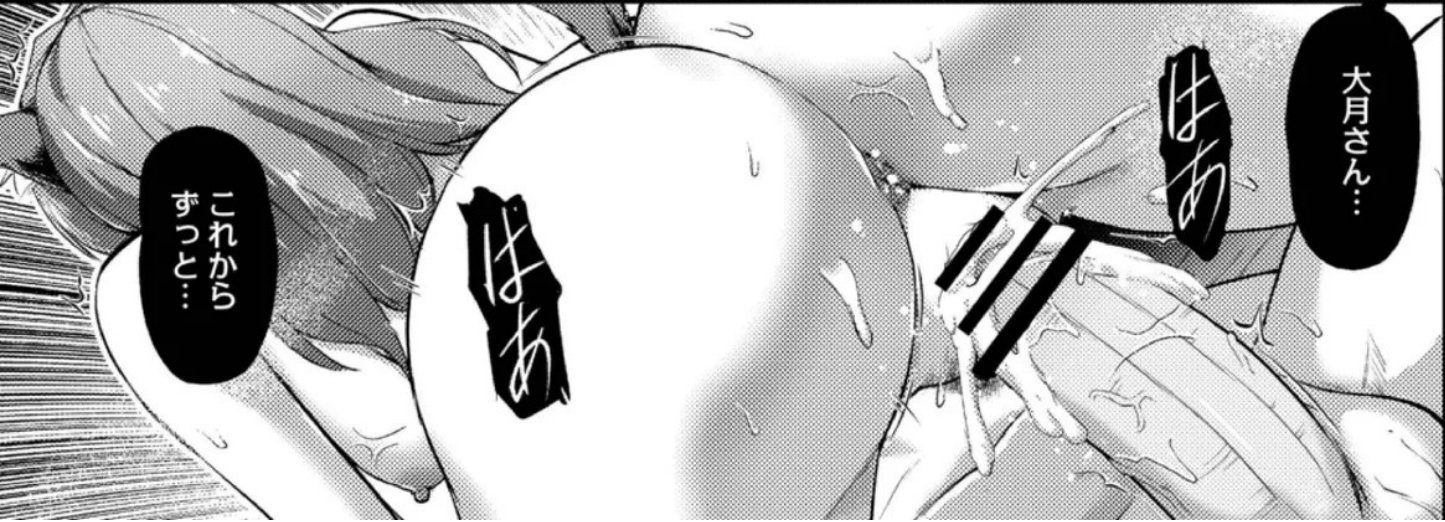
はあ



精気が
あふれてくる♡

はあ

はあ



大月さん…

はあ

これから
ずっと…

はあ



うわっ!?

グッ!グッ!



ん?

い



夢...か...?

...



すわん

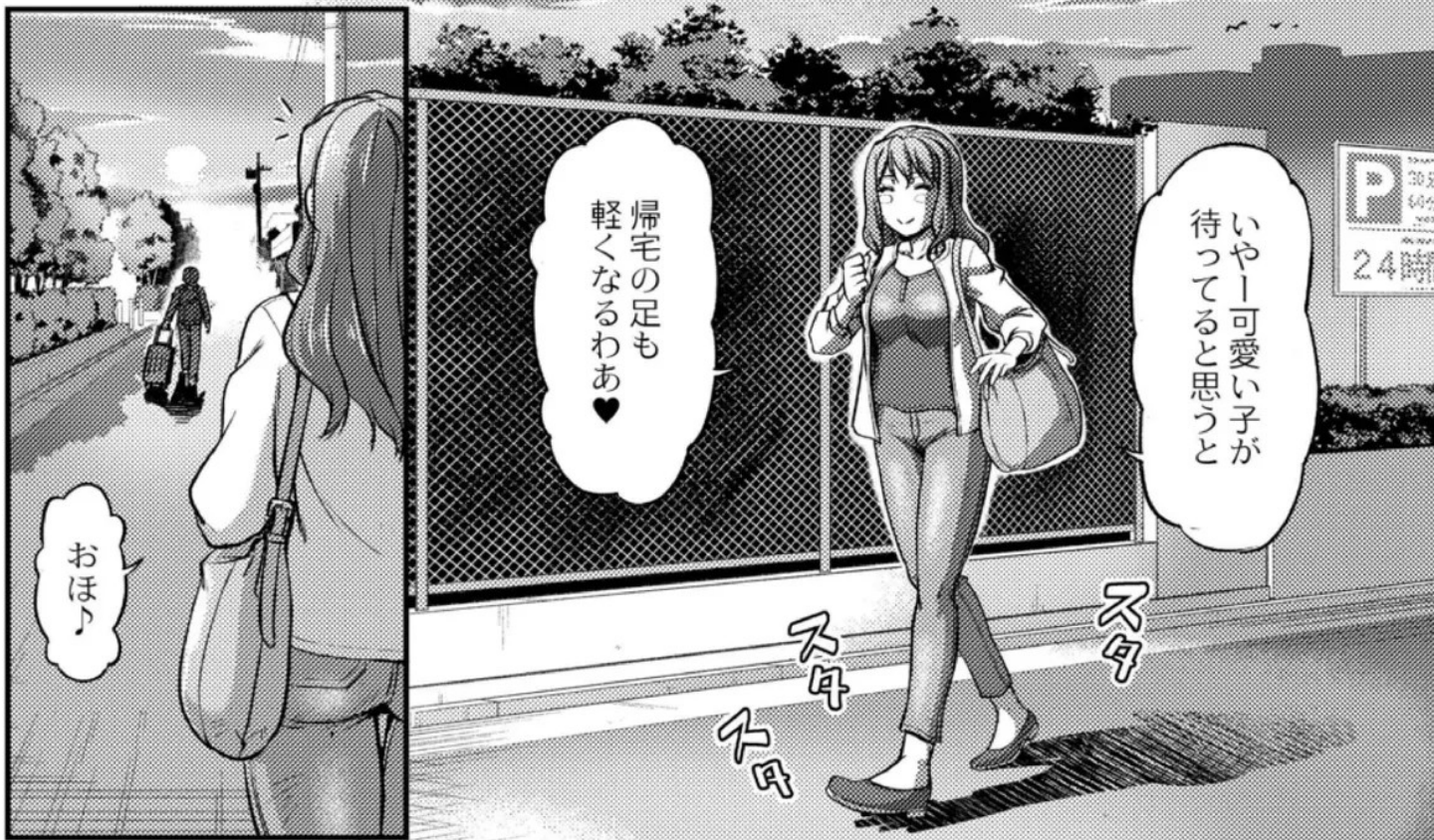
うわああ!

妹女館の 日常

第二話

presented by 浦瀬しおじ







街から
出られない？

しっかり確認して
バスに乗ったのに変な
場所に行っちゃうし

何とか戻ってきて
今度は駅まで歩いて
行ったら車両故障で
電車が動かないし

タクシーを全部
乗車拒否されて



歩いて隣の駅まで
行こうとしても
ナビアプリはこの近所に
誘導するし…

ずっとそんな
繰り返して…



あ…契約書
書いたでしょ？

…はい
取り敢えず
1年契約で

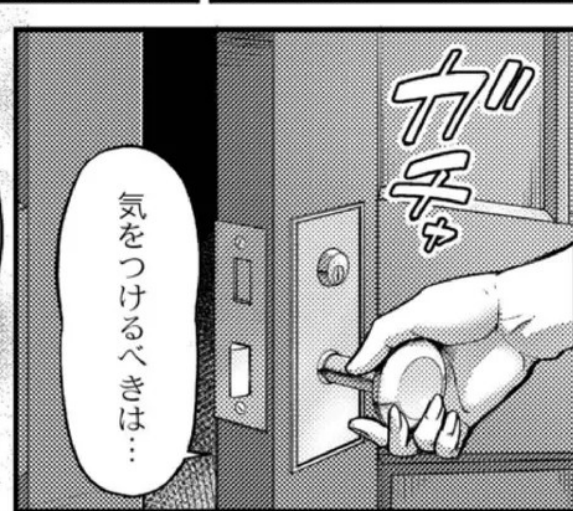
もちろん通学や
旅行はできるけど

じゃあ1年間は
あの館からは逃げ
られないわね

あのヒトの…
モリイさんの契約書は
絶対なの

逃げようと思った
途端に強制力が働いて
連れ戻されるわ







昨夜は会えなくて
残念だったわ♥

あなたがユキノンね？
初めまして♥
淫魔の明見菜々よ♪

ユ…
ユキノン？



養生館でならサービス
しちゃうわよん♥



あなたはまだ入店
できないだろうけど…

私 駅向こうの
ハニーローズって
お店で働いてるの



いきなり
精気を吸わないで
ください！



ヒヤッ!!
ビク



あら 明見さん
お食事もうすぐ
できますよ

失礼しちゃう
わよねえ



あらら

大丈夫だからね
私が守るから♡



猫に魚の番をさせる
のと同じですね♪

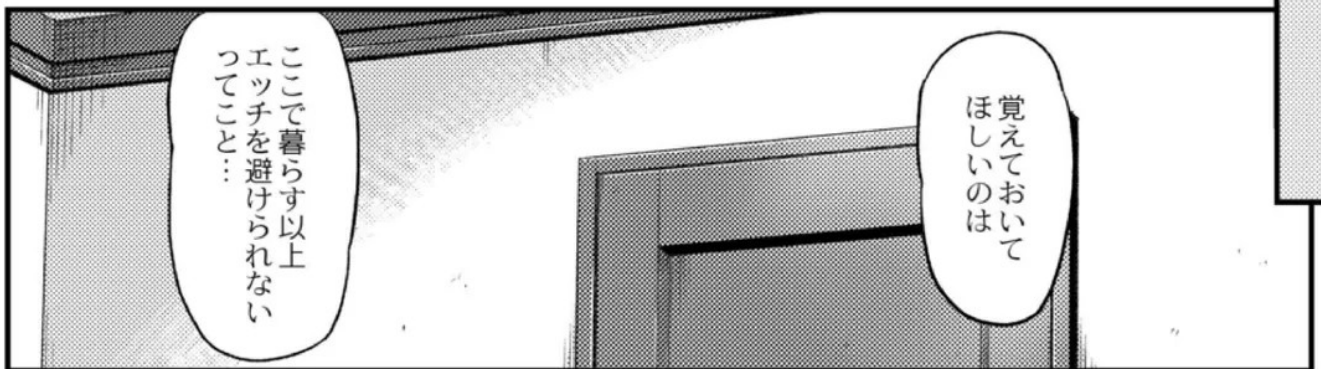
まあ
なんと云いますか

そうよねー♪



大家さんどう思う？

何アレ？
私が守る…とか
言っちゃってさ



覚えておいて
ほしいのは

ここで暮らす以上
エッチを避けられない
ってこと…

幸之クンの精液は
わた：彼女達にとつて
ご馳走なの

キミも住人の
一人になったから

無茶なことには
ならないように大家さんが
調整すると思うけど



大事なのはキミが
明見さん：と一応
ライラちゃんもかな？

：に流されて
ポロポロになるまで
抜かれないことね

あの：

何で僕の部屋に
いるんですか？

正直言つて僕は
大神さんのことも
心配なんです

食事も済んだし
明見さんもうじき
出勤だから：

それまではガード
しようかなって！





怪我は特に：
アザみたいなのは
あるけど



あと私は
基本的には大丈夫！

昨日は満月だったから
4分の1の狼の部分
はしゃいじゃって！

ホントごめん！
その…怪我とか
ないよね？

見せて！



これキスマークね
ほっとけば
すぐに消えるわ

ちよ…
近いですっ！



あのさ

はい

幸々くんってさ

はい



はいっつ!!

何か生えた!?

スっゴイいい匂い
するよねえ♡



ダメだ
このキツ!!

大丈夫!
今夜はやさしく
するから♡

ガッ
バ

思うんだけど
一番の対策って

エッチに慣れておく
事だと思っのよね♡

ぶるん

グイ



あ



ああ…
こんなにキスマーク
つけてごめんね♡

ちよっ…
舐める意味って…

ふあっ!

ぐいっ

ろろ

ヒク



そこは…っ
キスマークじゃ…

ひゅっ!

ちり

ちり



あっ待っ…!

ズル

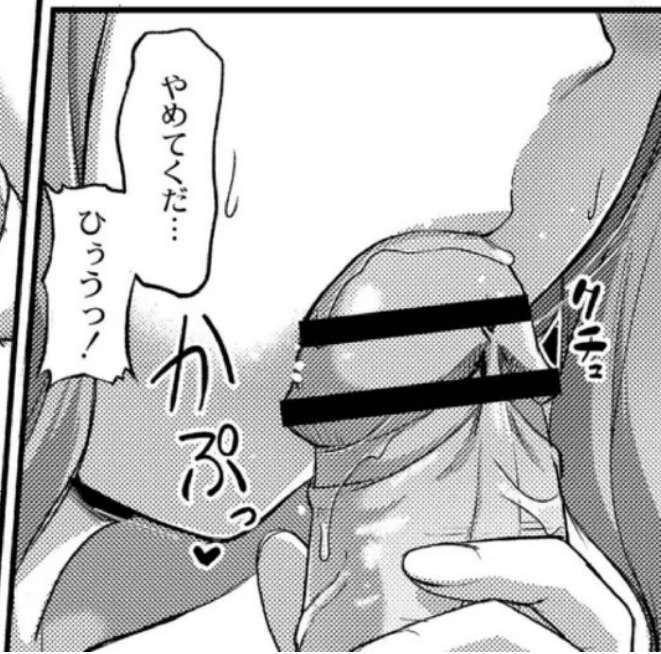
ピン!



そうだ!
こっちも怪我がないか
調べなくちゃだわ!

はっ

ムニッ





幸之クン...ツ
大丈夫...??♡

痛いところ...っ
ぷふっ...無い?

ふあっ!!

はっ!



舌がぬるぬる
絡んできて...

あ...大神さ...っ

ちよっと
待っ...!

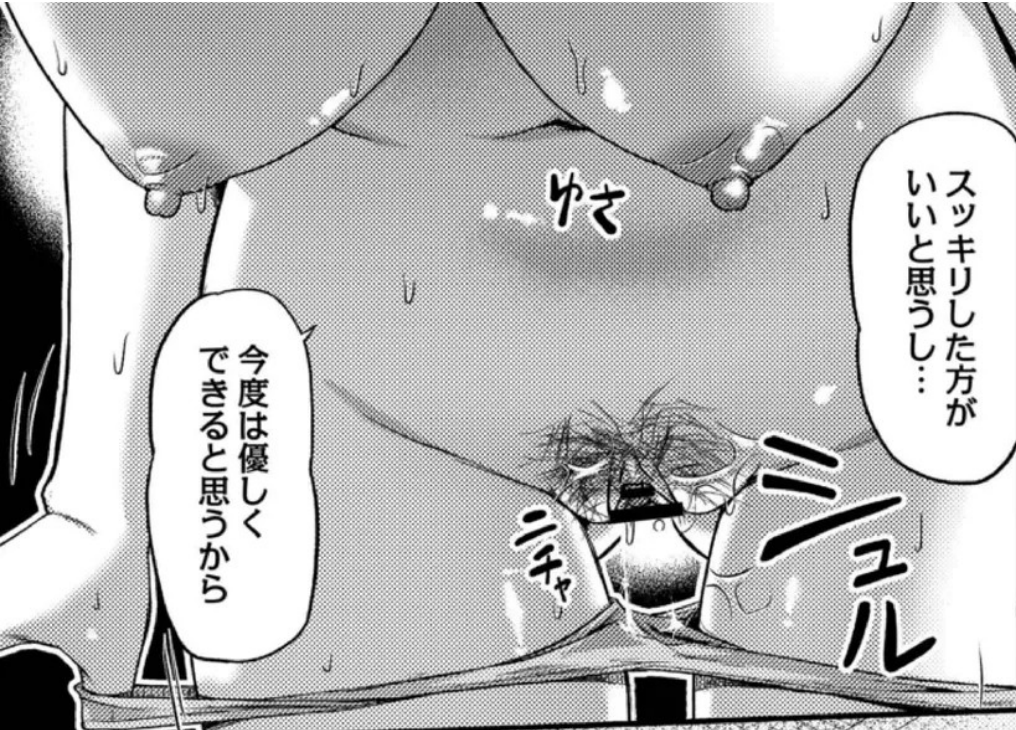
こんなの...もう
我慢できない...っ!

口の中...熱くて
吸い付いてきた...

アール

アール





スッキリした方が
いいと思うし…

今度は優しく
できると思うから

ゆさ

ニユル

ニチャ



あの…さ

これこのまま
だと…辛いよね♥

つんつん
どク



挿れても
いいかな？

いいよね♥

幸之クンも数を
こなした方が良く
と思うし…

はあ

ドキ

ドキ

だから

はあ



挿れちゃお♥

パハ

パハ♥

グハ

ワクワク



今度は優しく
できると思うから



じゃあ動くね…♥

中でピクピクして…
熱いの…♥



幸之クンの
オチンポ…

ピク

ピク

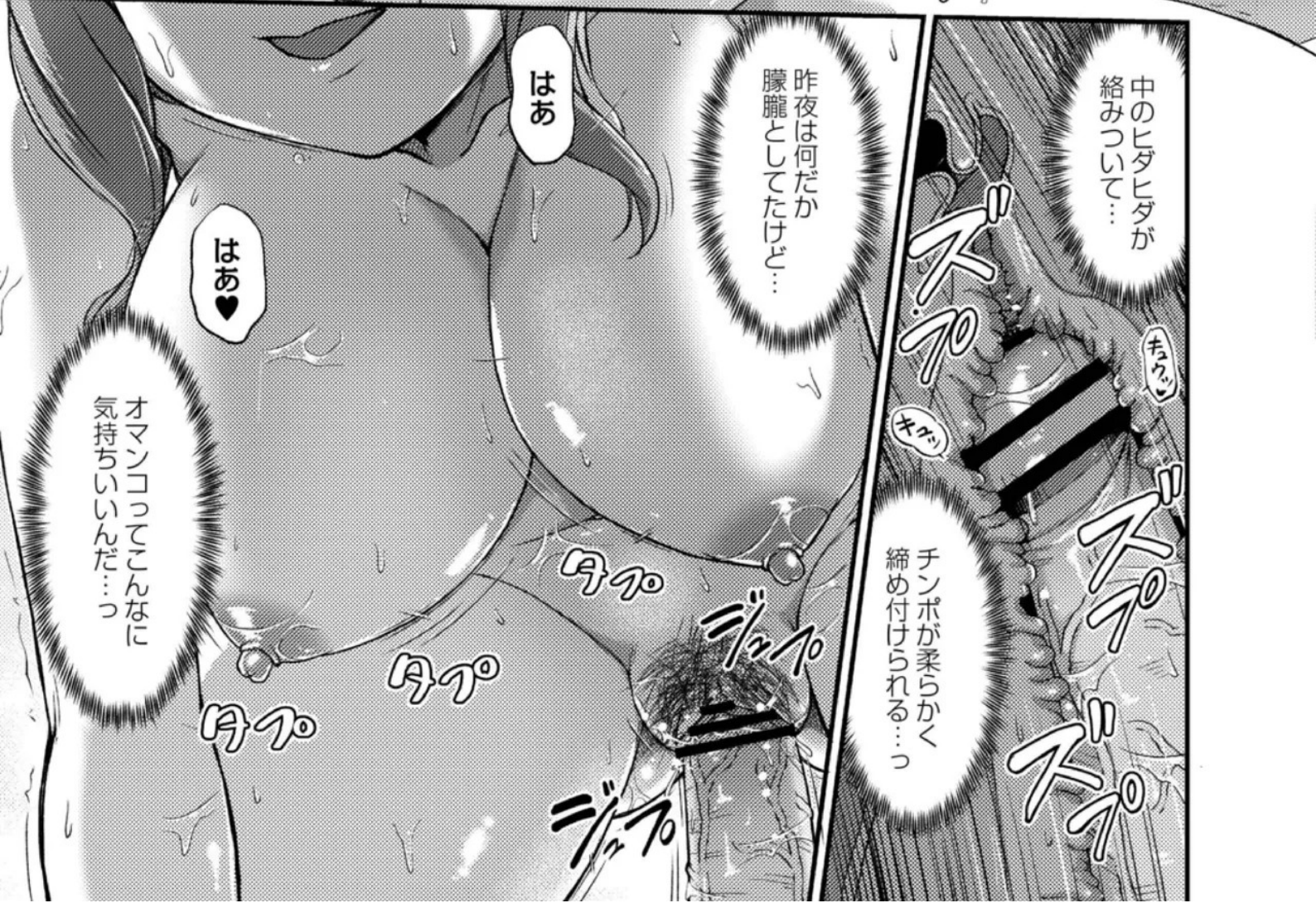


あんっ♡

んっ…

どう…かな？
気持ちいい…？

私のオマンコで…
んっ…練習してね♡



はあ

はあ♡

昨夜は何だか
朦朧としてたけど…

中のヒダヒダが
絡みついて…

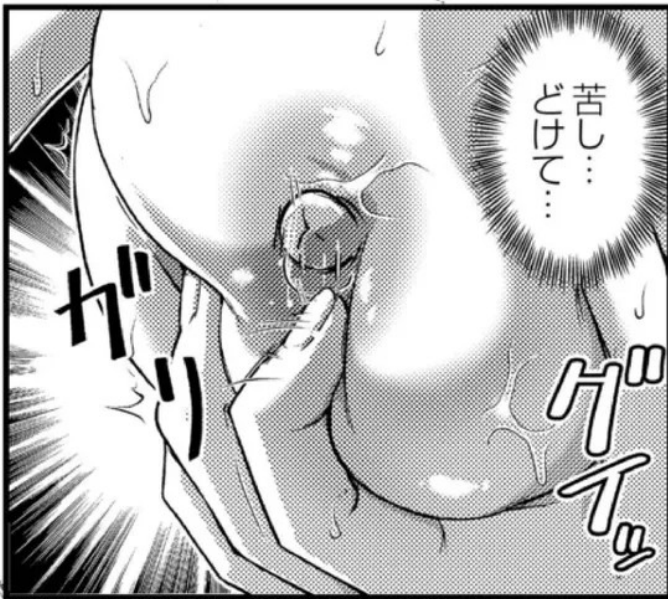
オマンコってこんなに
気持ちいいんだ…っ

チンポが柔らかく
締め付けられる…っ



むへっ

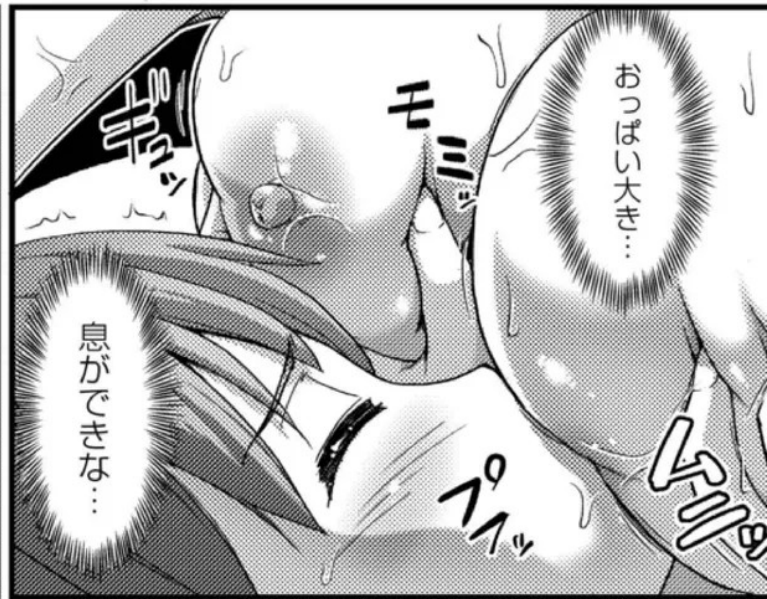
さっきキミの乳首
いじめちゃったから
私のおっぱい好きに
していいよ♥



苦し…
どけて…

ハリハリ

グッ



おっぱい大き…

息ができな…

フッ

グッ



あつそれ!!
乳首イジルの
いいっ♥

ごめんねっ
私っ…
腰がもう
止まんないっ♥

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ



んあぁあ

また出ちゃ...
ふはっ
ゲイッ

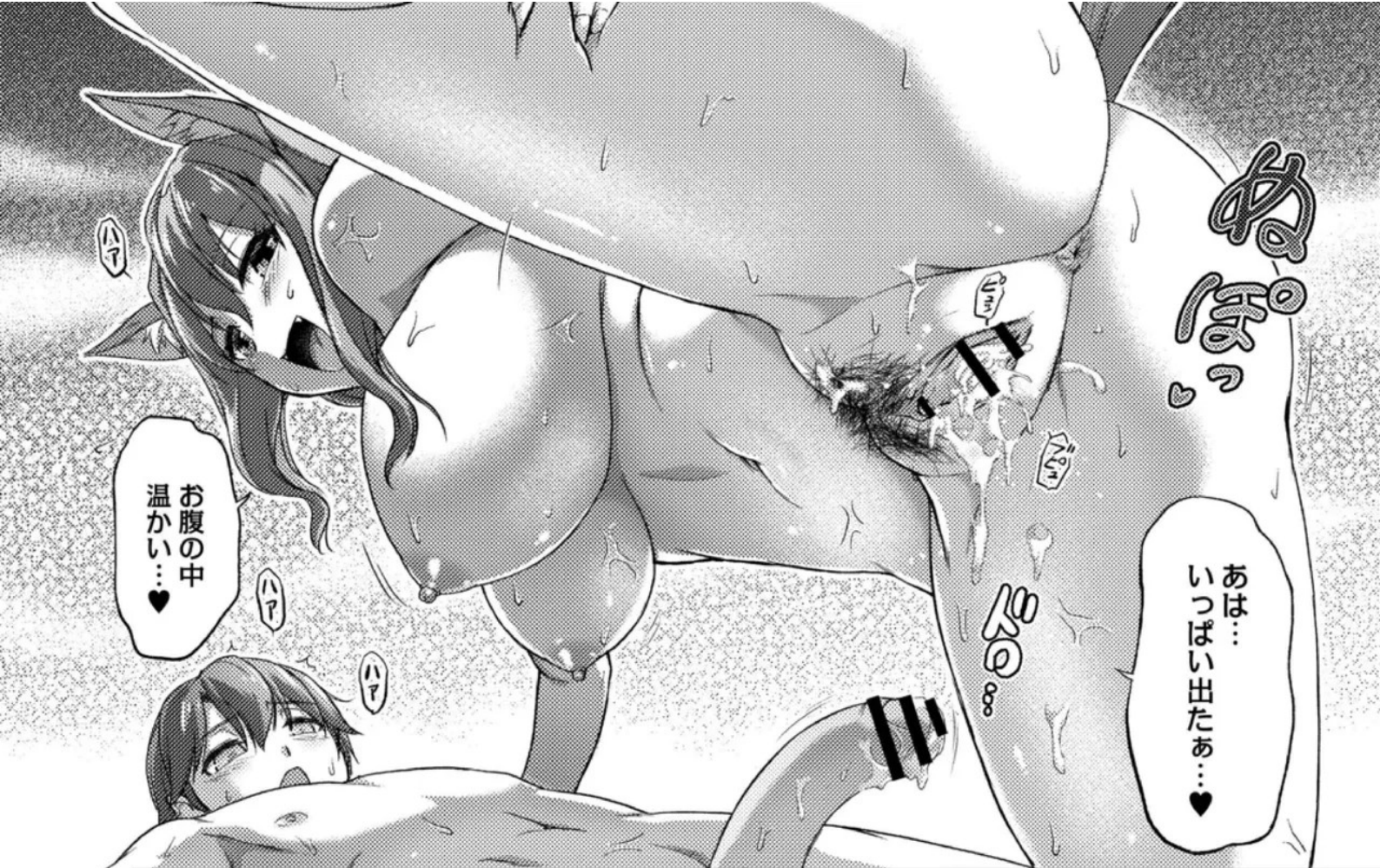
大神さ...っ
そんなにしたら...

いいよっ♡
いじでも...っ!
膣に出っっ♡
グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

キョッ
キョッ
キョッ



ぬほっ♡

あは...
いっぱい出たあ...♡

お腹の中
温かい...♡



私は他のヒトと
違って生命力とか
吸わないから...
安心して出してね♡

いや...
疲れるのは同じ
なんだけど...

じゃあ疲れにくい
方法を二人で
研究しよう



私のこと
お姉ちゃんと呼んで
くれていいよ♡

この人は4分の3の
人間部分が
ダメなんじゃ...?

呼びません

ねえ幸之くん

G-WALK

ムーグコミックス

妖女館の日常 第二話

著者 ● 浦瀬しおじ

© 2021 URASE SHIOJI / G-WALK

発行 ● 株式会社ジーウォーク

<http://gwalk.sakura.ne.jp/>

●本書の一部あるいは全部を無断で複製・転載・上演・放送・ネット配信等を行うことは、法律で認められた場合を除き、著作者及び出版者の権利の侵害となります。

●掲載作品はフィクションであり実在の人物、団体、事件などには一切関係ありません。また犯罪を教唆するものではありません。

●本書は大人向けの娯楽書であり、18歳未満の方の購入・閲覧・所持を禁じます。また、18歳未満の方への販売・陳列・貸与・譲渡・回覧を禁じます。